記　者　発　表　資　料
２０１７年４月２６日
経済観光部北部丘陵整備課
北部丘陵整備課長小林
電　話　042－724－2164

農地・山林の活用を促進！
町田市北部丘陵活性化計画アクションプラン策定

市では、「北部丘陵活性化計画」に基づき、「人と人が育む、美しく、いきいきとした町田ならではの里山をめざして」を目標像として、農地のあっせんや小野路宿里山交流館を開設する等、北部丘陵の活性化に取り組んできました。農地のあっせんにより、市有農地の活用率が 5 割を超えた一方で、北部丘陵の認知度の向上や、里山の担い手確保、周辺幹線道路の整備等、多くの課題があります。

これらの課題を解決し、北部丘陵の価値を高めるため、取り組みの核となる 5 つの事業を重点事業とする「町田市北部丘陵活性化計画アクションプラン」を策定しました。

アクションプランの計画期間は、2017 年度から 2020 年度までの 4 年間となります。

北部丘陵は、市内の上小山田町から下小山田町、小野路町、図師町、野津田町にかけて広がる多摩丘陵の一角の地域です。鶴見川の源流域となっている他、多摩丘陵の原風景を残す自然豊かな地域であり、小野路宿、小山田の城址等、歴史的資源が点在する広域的に貴重な地域です。

【5 つの重点事業】（「町田市北部丘陵活性化計画アクションプラン」＜概要版＞P3～4参照）

1. 新たな交流・回遊拠点の開設
   - 来訪者の回遊の拠点や、山林・農地の担い手の拠点の新たな開設場所を、検討し設置する
2. 里山環境の回復や保全を促進する仕組みの構築
   - 手入れが行き届いていない山林について、自然環境を活用した取り組みを行いたい個人や、団体に対して地権者との橋渡しを行う「（仮称）町田市山林バンク」を創設する
   - 農産物の販売や環境学習体験により、個人や団体が収益活動を行い、里山環境の回復や保全活動の充実を図る
3. （仮称）北部丘陵まちづくり推進ネットワークの構築
   - 北部丘陵内で活動する団体をネットワークの委員に加え、アクションプランの進捗状況の確認や課題の検討をする
4. 幹線道路などの計画・変更等
   - 北部丘陵で整備を予定している幹線道路や、多摩都市モノレールの導入空間となる道路について、整備手法の検討を行う
5. 北部丘陵での活動や魅力の効果的な情報発信
   - 北部丘陵内で行われている活動や地域の魅力等を情報発信する他、北部丘陵マップの作成、イベントを実施する

【今後の取り組み】（「町田市北部丘陵活性化計画アクションプラン」＜概要版＞P2 参照）

小山田地域及び小野路地域を先行事業実施地域と位置づけ、策定した事業展開イメージ実現に向けて、5 つの重点事業と合わせて、相乗効果が期待できる 10 の事業を（仮称）北部丘陵まちづくり推進ネットワークによる進捗管理を行いながら、進めていきます。